

第3号議案 令和3年度 事業報告

本体施設の新・改築により事業を開始して30年を迎える節目は、新型コロナウイルス感染症という未曾有の困難に見舞われ、経験したことのないニューノーマルな時代へと切り替わり、今後を切り開いていくための革新的な年となりました。法人の節目を皮切りに、1年を通して先人の志に学びつつ、新たな取り組みを積極的に取り組んでまいりました。

1. 事業の安定・体制強化・拡大開発、地域の特性に応じた介護サービス提供体制の整備

令和3年度、黒髪拠点の事業を安定させ、龍田・碩台校区の体制強化、拡大開発に取り組んでまいりました。

黒髪拠点の事業安定に向け、在宅から施設入所までのショートステイ機能の役割とあり方の見直しを行いました。在宅部門の代表者を集めて在宅会議を開催し、ショートステイの空室状況の明確化、利用者の情報共有、また、各居宅介護支援事業所のケアマネージャーからそれぞれに意見を聴取し、ショートステイに求めるものを一つ一つ解決してまいりました。それにより、コロナ禍の中、昨年度比37.6%増（17,666,184円増）という成果を出すことが出来ました。

小規模多機能型居宅介護事業所コムーネ黒髪においては、通所、宿泊機能を見直すととともに、訪問介護機能を強化したことで、令和3年4月から収益の改善傾向がすぐに見え始め、ショートステイ同様、コロナ禍の中、昨年度比13.5%増（13,484,745円増）という成果を出すことが出来ました。

また、養護老人ホームでは、熊本市内では空床が目立つ中、重度者や他法人での対応が困難なケースの受け入れを積極的に行うことで、令和3年3月の措置者40名、契約入所2名に対して、令和4年3月時点で措置者45名、契約入所3名に増加しています。

その他、全体で取得加算の見直しを実施したことで、リデルホーム黒髪、ノットホームで過去最高額となりました。

また、黒髪拠点では、黒髪校区自治会、民生・児童委員、老人会の代表者に集まって頂き、地域の課題の抽出を行いました。地域課題は高齢者だけではなく、児童や空き家、貧困といった重層的な課題が共有されました。令和4年度も継続的に、地域との会議を継続し、さらなる活動の種を育てていきたいと考えております。

碩台校区では、よって子飼とささえりあ浄行寺を併合、在宅サービス部門として、訪問看護事業所、居宅介護支援事業所の新規開所、訪問介護事業所の移転を行い、より広い地域で、在宅限界点の向上を図ってまいりました。浄行寺居宅介護支援事業所は職員3名体制で平均109件、訪問看護事業所は職員2～3名体制令和3年5月利用者数2名から令和4年3月利用者数25名、訪問介護事業所は令和3年4月102名から令和4年3月125名まで利用者数が増加しています。

龍田拠点では、居宅介護支援事業所を龍田校区の中心部に外だししたことで、認知度も向上し、職員4名体制、令和3年4月利用者数121名から令和4年3月151名に増加しています。

令和2年度と比較し、在宅サービスの収益は目標の120%には届きませんでした。11.3%増（33,704,641円増）、入所サービスの収益は10.3%増（18,752,486円増）となりました。2025年の在宅部門の目標値1.5倍に向け、令和4年度は、さらなる在宅部門の拡大に努めるとともに、地域共生社会に向けて、切れ目のない在宅サービスが提供できる体制を見える化・整備を進めてまいります。

2. 感染症、災害への対応力の強化

令和2年1月23日、東京都内で最初の感染者が診断され、令和2年度に引き続き、令和3年度も感染症対策を積極的に講じてまいりました。ワクチン接種（1回目ワクチン接種率93%、2回目ワクチン接種率93%、3回目のワクチン接種率95%）は勿論、蔓延防止対策として濃厚接触者にならない業務体制を徹底しました。体温測定、手袋やフェイスシールド、手洗いや消毒の徹底、リスクレベルに応じたBCPの策定、そして、PCR検査では登録衛生検査所の（株）CISに協力していただくことで、職員の家族も含めたPCR、抗原検査といった徹底的な検査体制の構築により、職員の中にも陽性者は1人以上増やすことはありませんでした。また、職員で濃厚接触や接触者に該当した場合にも、コロナ特別休暇を設けることで月給の保証、一時避難先の宿泊所の支払い等を行い、職員が安心して働ける環境を構築してまいりました。入所者のご家族との面会も、謝絶することなく、ict機器などのオンライン面会だけではなく、窓越し・カーテン越しの面会を継続してまいりました。毎月、理事長も含め感染対策委員会を開催し感染状況の確認・今月の対策・感染者報告などを行っています。また、クラスター発生時のBCP（事業継続計画）の作成を行い入居者の生活が継続できる体制を今年度も構築してまいります。

また、令和2年度に整備したwifi設備やzoomの導入、ポータルサイトの立上げ等を利用することで、令和3年度は、施設内で行う研修や会議をオンライン化させました。相談員やケアマネ等には一部在宅ワークを取り入れ、今後の可能性についての検証を行いました。更に業務改善を進めるべく、インカムの導入、介護保険ソフトのクラウド化などのインフラ整備を進め、令和4年度に向けての基盤整備を行いました。

災害対策では、令和2年7月の人吉豪雨災害から熊本県経営者協議会 DWAT を組織し、令和3年度は経営協事務局と協力し、DWAT 指針・マニュアルを作成しました。

3. 職員状況（令和4年3月31日現在）

令和3年度は例年と比較し、新規学卒者の採用成果が良く、年度初めから順調なスタートを切ることが出来ました。しかし、20年・30年以上勤められた方々の退職者が目立ち、離職率が14.8%と上昇し、平均勤続年数8年6ヶ月と前年度と比較して低下する結果となりました。外国人留学生が1名、正規職員となり、変則勤務、夜間勤務ができるようになっていました。また、65歳以上の雇用を積極的に雇用し、本人の得意なことや出来ることを、細分化させた業務とマッチングさせることで、多様な人材が働ける環境をつくりあげました。また、ミドルマネジメント層を厚くし、流れを作ることで、各事業所の活性化を図りました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
職員数	177名	174名	175名
男性	61名	65名	70名
女性	116名	109名	105名
平均年齢	42.2歳	43.7歳	44.3歳
65歳以上	14名	14名	18名
平均勤続年数	8年4ヶ月	9年1ヶ月	8年6カ月
勤続年数			
0～10年未満	123名	116名	120名
10～20年未満	38名	38名	37名
20年以上～	16名	20名	18名

雇用形態			
正職（一般職員）	96名	104名	102名
正職（限定職員）	40名	35名	32名
パート	41名	35名	41名
退職者数（合計）	26名	31名	28名
正職	16名	16名	19名
パート	10名	15名	9名
離職率（正職）	14.5%	11.3%	14.8%
採用者数	31名	24名	33名
新卒	3名	1名	5名
中途採用者	28名	23名	28名
外国人労働者数	1名（内パート1名）	2名（内パート2名）	3名（内パート2名）
障がい者数	4名	6名	4.5名
障がい者雇用率	2.84%	3.23%	2.82%

① 年次有給休暇取得状況、月平均残業時間について

令和3年度はコロナウイルスによる特別休暇や在宅勤務を設けたことで、年休取得率は例年と変わらない数字となりました。残業時間については、ポータルサイトを利用して動画研修を業務時間内にて行ったことで、研修による時間外勤務はなかったものの、在宅部門を拡張し、利用者の増加に対して、職員を十分に配置できなかったこと、また介護保険ソフトの変更に伴い、令和2年度と比較して残業時間が増加しました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
年休取得率	47%	49%	47%
残業時間数	1,825時間	688時間	915時間

② 子育て・介護の必要な家族がいる職員への支援について

高齢者や子どもを抱えた職員に対して、ここ数年取得率や取得人数も横ばいの状況となってきました。今後も取得しやすい環境を整備するとともに、新たな個別課題に対してもアンテナを張り、法人制度設計について検討し続けてまいります。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
育児休暇取得者数	7名	4名	6名
子の看護休暇取得者数	20名	14名	23名
子の看護休暇取得延べ日数	79.5日	66.3日	74.3日
介護休暇取得者数	10名	13名	10名
介護休暇取得延べ日数	19日	37日	36日
所定外労働免除対象者数	10名	11名	9名
時間外労働制限対象者数	16名	17名	19名
深夜業制限対象者数	16名	17名	19名
育児短時間勤務者数	8名	7名	8名

③ 資格合格者について

令和3年度は介護支援専門員の勉強会を開催し、参加者の中から2名合格しました。また、介護福祉士実務者研修を実施し、研修参加者の中から介護福祉士に3名合格しました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
介護福祉士	6名	4名	3名
介護支援専門員	0名	0名	2名
社会福祉士	0名	0名	0名
精神保健福祉士	0名	1名	1名

4. 公益的事業

(1) 生計困難者レスキュー事業

6件対応

(2) 配食事業

黒髪4町内に居住する1人暮らしの方を対象として、お弁当の配達を実施。1日2名の方が利用されています。令和元年度は新規の利用希望者はありませんでした。無添加で温かい食事、配達の際の職員との会話を大変楽しみにされています。

(1) 役員会の開催

令和3年度は、役員改選の年であり、理事、評議員と複数の方が入れ替わりました。

役員会：理事会

日時：令和3年 5月26日（水） 16時00分～

参加者：理事5名／6名 監事2名／2名

議題：

第1号議案 計算書類の承認（令和2年度決算報告）について

第2号議案 社会福祉充実残額について

第3号議案 令和2年度事業報告について

第4号議案 介護福祉士修学資金等貸付事業における連帯保証人について

第5号議案 理事、監事候補者の選任について

第6号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任について

第7号議案 評議員候補者について

第8号議案 リデル役員退職慰労金規程について

第9号議案 リデル退職金基準額の計算について

第10号議案 次期評議委員会議題について

第11号議案 理事長職務執行状況報告について

役員会：評議員選任・解任委員会

日時：令和3年 5月31日（月） 14時00分～

参 加 者：評議員選任・解任委員4名／4名

議 題：第 1号議案 評議員選出

役 員 会：評議員会

日 時：令和3年 6月14日（月） 14時00分～

参 加 者：評議員6名／7名

議 題：

第 1号議案 計算書類の承認（令和2年度決算報告）について

第 2号議案 社会福祉充実残額について

第 3号議案 令和2年度事業報告について

第 4号議案 理事、監事の選任について

第 5号議案 リデル役員退職慰労金規程について

役 員 会：理事会

日 時：令和3年 6月14日（月） 15時00分～

参 加 者：理事6名／6名 監事2名／2名

議 題：第 1号議案 理事長選任について

役 員 会：評議員会

日 時：令和3年 7月28日（水） 15時00分～

参 加 者：評議員7名／7名

議 題：なし

報 告 事 項：① 役員紹介（理事、評議員）

② 委嘱状交付

③ 令和3年度事業計画の共有

役 員 会：理事会

日 時：令和3年 9月21日（火） 15時00分～

参 加 者：理事6名／6名 監事1名／2名

議 題：

第 1号議案 令和3年度法人会計及び施設会計支出予算の流用について

第 2号議案 令和3年度資金収支補正予算について

第 3号議案 運営規程改定について

第 4号議案 経理規程改定について

第 5号議案 理事長職務執行状況報告について

役 員 会：理事会

日 時：令和3年12月21日（火） 15時30分～

参 加 者：理事6名／6名 監事2名／2名

議 題：

第 1号議案 令和3年度法人会計及び施設会計支出予算の流用について

第 2号議案 令和3年度資金収支補正予算について

第 3号議案 理事長職務執行状況報告について

役員会：理事会

日時：令和4年 3月15日（火） 15時00分～

参加者：理事6名／6名 監事1名／2名

議題：

第 1号議案 令和4年度事業計画について

第 2号議案 令和4年度資金収支予算について

第 3号議案 令和4年度契約業務について

第 4号議案 定款改定について

第 5号議案 給与規則改定について

第 6号議案 パートタイム労働者就業規則改定について

第 7号議案 経理規程改定について

第 8号議案 育児・介護休業等に関する規則改定について

第 9号議案 次期評議委員会議題について

第10号議案 理事長職務執行状況報告について

役員会：評議員会

日時：令和4年 3月24日（木） 16時00分～

参加者：評議員6名／7名

議題：第1号議案 定款改定について

報告事項：① 令和4年度事業計画について

② 令和4年度資金収支予算について

(2) 委託契約について

● 給食業務委託契約

事業所：淀川食品（株）

期間：令和3年10月1日～令和4年9月30日

● 清掃業務委託契約

事業所：西田産業（有）

期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

● 介護保険ソフト契約

事業所：（株）熊本計算センター

期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

事業所：（株）CSC

期間：令和4年1月1日～令和4年3月31日

(3) 改修・購入について

① リデルホーム龍田ナースコール設備工事

業者名：有限会社アクティブエレクト

費用：1,430,000円

工期：令和3年8月

② リデルホーム黒髪浴室脱衣室空調機交換工事

業者名：株式会社サンテクノ

費用：1,375,000円

工期：令和4年2月